

2020年度バイオメディカルサイエンス専攻シラバス

授業科目名	微生物感染症学特論		
コーディネータ	森 康子		
授業形式	講義	配当年次	修士1年次
単位数	2単位	選択・必修	選択必修
曜日・時限	後期 木曜日 13:00～15:30		
担当分野名	臨床ウイルス学分野		
担当教員名	荒川 創一、亀岡 正典、秋山 由美、近平 雅嗣、矢野 嘉彦、勝二 郁夫、白川 利朗、斎藤 あつ子、入子 英幸、青枝 大貴、伊藤 正恵、森 康子		
授業のテーマ	微生物感染症学(ウイルス学、細菌学、真菌学、寄生虫学、感染免疫学)の基礎を修得する。 さらに、微生物感染症学研究の最先端のトピックスに触れ、生命科学研究における微生物感染症学の意義と展望について学習する。		
授業の到達目標	BMS専攻に必要な微生物感染症学(ウイルス学、細菌学、真菌学、寄生虫学、感染免疫学)の知識を修得する。また、時に応じて、微生物感染症学研究の最先端のトピックスに触れ、生命科学研究における微生物感染症学の意義と展望について学ぶ。		
授業の概要と計画	後期(10月～3月)の木曜日13:00～15:30に共同会議室(医学研究科研究棟B 2階)で行う。 ただし、授業日程を変更する必要がある場合には、随時通知する。 1) 10/1(木)「HIV」 担当: 亀岡 正典 2) 10/8(木)「C型肝炎ウイルス」 担当: 勝二 郁夫 3) 10/15(木)「性感染症」 担当: 荒川 創一 4) 10/22(木)「ウイルス下痢症(食中毒)」 担当: 近平 雅嗣 5) 10/29(木)「腸チフス」 担当: 白川 利朗 6) 11/5(木)「寄生虫症から学ぶ」 担当: 斎藤 あつ子 7) 11/12(木)「細菌毒素の検出法」 担当: 秋山 由美 8) 11/19(木)「B型肝炎」 担当: 矢野 嘉彦 9) 11/26(木)「マラリア感染症」 担当: 入子 英幸 10) 12/3(木)「感染免疫学とワクチン」 担当: 青枝 大貴 11) 12/10(木)「麻疹及びその他のパラミクソウイルス感染症」 担当: 伊藤 正恵 12) 12/17(木)「ヘルペスウイルス感染症」 担当: 森 康子		
成績評価方法	講義への出席(演習での発言など)50%およびレポート提出(課題への取組等)50%により総合的に評価する。		
成績評価基準	講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を“優”，その中でもさらに優れたものについては“秀”，講義の内容はよく理解したが、積極性が十分でないと判断できる場合を“良”，講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を“可”とする。		
履修上の注意 (関連科目情報)	この専門領域トップクラスの講師を招き、講義を行ってもらうことにより学生の研究意欲の向上をはかる。実施した授業のテーマから任意の一つを選択して、レポートを提出。詳細は授業後半に指示する。		
事前・事後学修	事前学修: 各回の授業で取り扱う項目について、関係する書物・論文等を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと。 事後学修: 各回の授業で取り扱った事項について、関係する書物・論文等を再読し、授業で学んだことについてまとめること。		
学生へのメッセージ	不明な部分がある場合は、躊躇せずに質問することを心がけること。 積極的 attitude で、何事にも興味を持ち授業に望むこと。		
オフィスアワー・連絡先	医学研究科B棟4階 臨床ウイルス学分野研究室 E-mail: virology@med.kobe-u.ac.jp TEL: (078)382-6272 随時受け付けます。ただし、会議や出張で不在にすることもあるため、事前に予約すること。		
今年度の工夫			
教科書	講義内容に合わせて、必要ある場合は、別途お知らせします。		
参考書・参考資料等	講義内容に合わせて、必要ある場合は、別途お知らせします。		
授業における使用言語	日本語		
キーワード			